

# 勤務先、通学先、お出かけ先での災害にも 出かけた先で災害にあったら...準備したいグッズなど...

## 一緒に出かけたいグッズ

出かけた先で大きな災害が発生し、帰宅までにかなりの時間を必要とする場合に備え、できれば携帯しておきたいのが、携帯・スマホ用充電池や携帯ラジオ（正確な情報の把握）です。加えて飲料、携帯食料（チョコレートなど）があるとさらに安心です。

## 家族で安否確認方法を事前に確認

災害用伝言ダイヤル【171】や伝言板など、家族で安否確認手段を決めておきましょう。災害用伝言ダイヤル【171】は毎月1日と15日など、体験利用できる日があります。お試しをおすすめします。

帰宅や連絡ができない場合も想定した相談をしておきます。

我が家家の安否確認手段は

と

## お年寄りや子供しか家にいない...

ご近所、知り合いとの事前の相談を是非しておいてください。もちろん家族での事前の決めごとも必要です。マンションの災害対策本部は集会室に設置されます。

## 職場や学校でも確認

交通機関がストップ、道路は大渋滞など、無理して帰ることがかえって危険を招くことも考えられます。職場や学校に留まることを想定した準備をしておきましょう。職場や学校でも災害発生時の準備が必要です。職場にしばらく留まらなければならない場合の備蓄品（飲料水や食料品、救急医薬品など）徒步で帰宅する場合に必要な用品（歩きやすい靴、懐

中電灯、帽子やヘルメットなど）の準備をしておきます。

## 途中で災害が発生したら...

通学・通勤路の途中で災害にあう場合もあります。避難場所、一時滞在施設

等の事前確認もしておきましょう。帰路途中のトイレ・休憩・水分の補給場所の確認もしておきます。帰宅マップを作っておくといいでしょう。実際に一度歩いて帰ってみるのもいいでしょう。

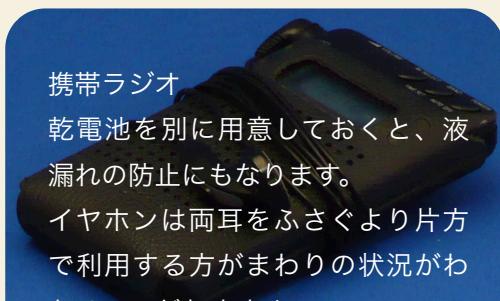
## 訓練には是非参加してください。

自治体などの訓練が通勤・通学経路で行われる場合もあります。いい機会ととらえ、積極的に参加してみましょう。もちろんマンションの訓練には必ず参加しましょう。

## 地震以外にもさまざまな災害が予想

今後30年間に70%の確率で発生するといわれている首都圏の直下型地震に備えるのは当然です。でも災害はそれだけではありません。台風、噴火、集中豪雨、大雪などいつ起きてもおかしくありません。事故による大規模停電や考えたくもない原発事故もあります。

だからこそ備えが必要です。あとで～と言わずに今すぐ...



携帯ラジオ

乾電池を別に用意しておくと、液漏れの防止にもなります。

イヤホンは両耳をふさぐより片方で利用する方がまわりの状況がわかるのでがおすすめ。



スマホ・携帯電話用充電池

コンセントからの充電器が使えないことが考えられます。自宅での備品としてもおすすめします。懐中電灯を兼ねたタイプもあります。充電容量が大きいほど重くなりますが。繋ぐケーブル忘れない注意しましょう。

